

事業番号	10 04 13	事業改善シート (27年度実施事業分)		<input type="checkbox"/> 予算要求	<input type="checkbox"/> 当初予算案	<input type="checkbox"/> 補正予算案	<input checked="" type="checkbox"/> 点検
事業名	戸隠森林植物園・森林学習館管理費			担当課	部局	林務部	
総合5か年計画	プロジェクト				課・室	森林づくり推進課	
	施策の総合的展開	1-4 森林を活かす力強い林業・木材産業づくり			E-mail	shinrin@pref.nagano.lg.jp	
		4 様々な主体の関わりによる森林の適正管理と多様な利活用の推進			実施期間	H10 ~	

1 事業の概要

目指す姿	戸隠森林植物園、森林学習館を県内外の方に利用してもらい、森林体験や森林学習等を通じて、森林・林業等に対する理解と啓発普及を図る。
------	--

現状 (予算編成時)	戸隠森林植物園は動植物の宝庫であり、その植物園内にある森林学習館は、戸隠の自然や生き物を展示した施設である。戸隠森林植物園や森林学習館を利用して森林学習ができ、県内外の多くの者に利用されている。 H25利用者数 植物園 129,785人 学習館 23,294人 H26利用者数見込 植物園 125,000人 学習館 22,000人 森林・林業への理解の役立ち度 90%
------------	--

県が関与する理由	県関与の必要性あり 県民との協働による実施: 実施中 【左記の説明、根拠法令等】 県が造成設置した施設である。また、県施設として、平成24年7月～平成29年3月の間のネーミングライツ協定(県がネーミング・ライツパートナーから対価を得て、県施設に愛称を付与する制度による協定)を締結している。
----------	--

成果目標・事業内容	① 成果目標 (H27)					
	○利用者数 H25の利用者数の約3%増 = 戸隠森林植物園利用者数・・・133,000人、森林学習館利用者数・・・24,000人 ○満足度 森林学習館の利用満足度調査の全回答者数に対する満足との回答をした者の割合90%と同水準					
	② 事業内容 (単位:千円)					
	項目	実施方法	H27事業実績		H28	
			(当初)	(決算)	(当初)	
	森のまなびや活用促進	直接	戸隠森林植物園や森林学習館の活用促進のイベント(1回)	50	37	50
	植物園・森林学習館管理業務委託	委託	植物園・学習館の管理(樹木、土石、草木の維持保管、巡視等)、施設維持管理(清掃、設備保守等) 委託先(長野市)	8,106	8,106	8,106
パンフレットの印刷等	直接	施設案内パンフレットの印刷及び配布等	420	374	379	
植物園内修繕工事	直接	老朽化した木道、破損した水門改修と浚渫工事	2,575	1,868		
森林のシアター設置事業	直接	学習館のマルチビジョンシアタールームに新たなシアターシステムを導入し、映像プログラムを制作した。	3,923	3,378		
体感ジオラマ映像機器更新	直接	学習館の体感ジオラマコーナーにある老朽化した機器の更新を行う。			3,724	
		合計	15,074	13,763	12,259	

事業コスト	区分(単位:千円)	25年度	26年度	27年度	28年度
	前年度繰越				
	当初予算	8,594	9,992	15,074	12,259
	補正予算				
	合計(A)	8,594	9,992	15,074	12,259
	一般財源	7,794	9,192	10,351	7,735
	県債				
	国庫支出金				
	その他	800	800	4,723	4,524
	決算額(B)	8,590	8,606	13,763	
概算人件費	職員数(人)	0.10	0.10	0.10	0.10
概算事業費(B(A)+C)	概算人件費(C)	826	826	828	828
		9,416	9,432	14,591	13,087

成果目標の達成状況					
項目	H26末(実績)	H27			H28
		目標	成果	達成状況	目標
植物園入園者数	126,755人	130,000人	139,445人	達成	130,000人
学習館入館者数	20,655人	24,000人	20,191人	未達成	21,000人
森林・林業等への理解の役立ち度(%)	90	90	90	達成	90

目標に対する成果の状況	○ H26実績値確定によるH26末実績の変更 植物園入園者数については、目標数を大きく上回り、目標達成した。森林・林業等への理解の役立ち度についても、目標を達成した。学習館入館数については、イベントの開催などの効果により、これまでの利用者数の減少幅が下げ止まったものの、目標未達成となった。
-------------	--

2 今後の事業の方向性

今後、事業をどのようにしていきたいか	<input type="checkbox"/> 事業を実施しない <input checked="" type="checkbox"/> 事業を見直して実施 <input type="checkbox"/> 事業を現行どおり実施 28年度は、引き続き森林学習館の老朽化した設備の更新を行い、さらなる魅力向上を図る。また、NPO法人、ボランティア団体との協働を進め、利用者の増加に取り組む。
--------------------	--